

家棟川ビオトープ 魚の観察会を 開催しました～、(^o^)/

平成29年9月3日(日)9時から、野洲市野田地先の家棟川ビオトープで魚の観察会を開催しました。

今年1回目の観察会で、家族連れや団体、個人の方々37名とスタッフ20名の計57名での開催となりました。

家棟川で捕獲した魚の観察の後、ビオトープの池に入って魚や昆虫などを捕まえて観察したり、魚と野草の天ぷらの試食を行いました。



さし網を引き上げる様子を見学



さし網で捕獲した魚の観察



ビオトープの池で魚捕り

強風のため、家棟川での船に乗っての観察は中止となりましたが、前日から仕掛けておいたさし網を引き上げる様子を堤防から見た後、捕獲した魚の観察を行いました。ニゴイヤニゴロフナが捕獲できたのをはじめ、外来種であるブラックバスも捕れました(^o^)

ビオトープの池では、ヨシノボリやドジョウ、メダカなど多くの魚が捕れました。また、スジエビやヌマエビなどの甲殻類も捕れました(*^_^*)

講師の先生による、魚の特徴や見分け方などの説明を、みんな真剣に耳を傾けていました。その後、子どもたちは、実際に捕ってきた魚などを手に取り、触って観察しました。



捕獲した生き物を観察



野草と魚の天ぷらを試食

参加してくれた子どもたちから、また参加したいという声もいただきました。

次は、11月19日(日)に秋の自然観察会を開催予定ですので、多数のご参加をお待ちしております！！

最後に全員そろっての記念撮影をした後、ビオトープ内で採れたクスの花や芽、セイタカアワダチソウ、スイバなどの野草と漁師さんに提供いただいたワカサギ、当日家棟川で捕獲したブラックバスの天ぷらをみんなで試食しました。

『クスの花は見た目もきれいでおいしい。セイタカアワダチソウは少し苦い。ブラックバスは予想以上においしい。やっぱりワカサギが一番おいしい。』など、いろんな感想が子どもたちから聞こえてきました。

みなさんに楽しい時間を過ごしていただきました。



参加者全員で記念撮影

家棟川ビオトープ自然観察会

主催：滋賀自然環境研究会、NPO法人家棟川流域観光船、野州市環境課、

滋賀県土木交通部流域政策局河川・港湾室、南部土木事務所

協力：独立行政法人水資源機構琵琶湖開発総合管理所

事務局：滋賀県土木交通部流域政策局河川・港湾室